

# 飯南

い  
い  
な  
ん

## 議会報

- 02 3月定例会 陳情
- 03 可決された主な議案  
議員提出議案  
平成28年度一般会計予算
- 04 一般質問
- 09 討論 採決の結果
- 10 常任委員会報告  
議会活動報告  
議会全員協議会の議題
- 12 明日を拓く

第45号  
平成28年4月20日



# 3月定例会終わる

3月7日から23日までの17日間の日程で開きました。

本定例会は、平成28年度当初予算、過疎地域自立促進計画（平成28～32年度）など、町民の生活に直結した案件が提案され、全議案を可決しました。

飯南町課設置条例を改正し、地域振興課が新たに設置されました。これは、企画財政課が所管していた自治振興及び地域コミュニケーションの推進、志津見ダム周辺地域活性化対策の総括、飯南高校支援及び産業振興課の定任対策を所管し、8人のスタッフがこれに当たります。集落の皆さんの熱い思いをくみ取り、活気のある集落づくりを支援することで、住みたくなる集落、ひいては住みたくなるまちづくりが推進されることを期待します。

創業支援事業（1970万円余）は、産業人材育成のための研修、創業、市場調査、事業支援などで新たな産業を根付かせ、雇用の創出や経済の活性化を図るものです。

U・イターンなどで、本町に住みたくても仕事が無いことが障害となっていました。自ら事業を起こしたり、雇用を生むことを支援して、働きの場の創出を図ります。

## 「可決された主な議案」

### ■ 条例関係

飯南町行政不服審査会条例の制定など14件

### ■ 補正予算

平成27年度飯南町一般会計補正予算（第8号）など6件

### ■ 予算

平成28年度飯南町一般会計予算など7件

### ■ 諸議案

- ・飯南町過疎地域自立促進計画（平成28年度～平成32年度）など5件
- ・公の施設（志津見集落活性化施設）指定管理者の指定など15件
- ・飯南町本庁舎建築工事請負変更契約の締結など2件

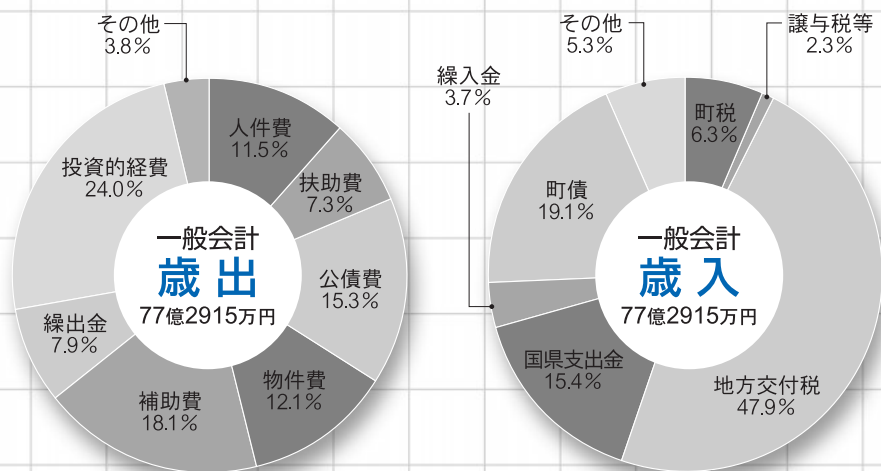
### ■ 報告

議会の委任による専決処分の報告

## 「議員提出議案」

飯南町議会議規則の一部を改正する規則

## 【平成28年度 一般会計予算】



一般会計・特別会計・病院事業会計の総額は **107億8190万円**

| 各会計         | 予算額              |
|-------------|------------------|
| <b>一般会計</b> | <b>77億2915万円</b> |
| 特別会計        |                  |
| 国民健康保険事業    | 6億9778万円         |
| 後期高齢者医療事業   | 1億7794万円         |
| 介護保険サービス事業  | 2870万円           |
| 簡易水道事業      | 4億9137万円         |
| 下水道事業       | 4億7261万円         |
| 病院事業会計      | 11億8435万円        |

## 「陳情」

公共事業の安定的な予算確保等を求める陳情

〔陳情者〕

飯南町下赤名877番地1

飯南町建設業協会

会長 後藤 浩二

〔審査委員会〕

教育経済常任委員会

〔審査結果〕

採択

T・P・P協定を国会で批准しないことを求める陳情

〔陳情者〕

松江市芋町27番地

島根県農民運動連合会

代表者 長谷川 敏郎

〔審査委員会〕

教育経済常任委員会

〔審査結果〕

継続審査

# 一般質問

3月定例会



内藤 眞一議員

## Q何故定住できない

定住支援制度を利用したU・Iターナーは、平成22年から26年の平均値で35名、定着率は65パーセントと聞いているが、定着出来ない理由は何か。U・Iターナー者に対する具体的な定住支援制度、支援状況を問う。  
また、各種制度の一覧表を作ってはどうか。

## A仕事内容とのミスマッチが

町長 山崎 英樹

仕事の内容が想像していたのとは違う場合もあるようだが、人間関係にも問題があるようだ。

支援の施策は、子育て、教育、産業振興、農業振興、医療の確保、健康づくり、住宅政策などの総合振興計画、総合戦略の推進にある。

就農希望者は、日本政策金融公庫やJAの各種支援制度を利用できる。来年度は、既存の支援制度に加え、集落でのUターナーを推進する為の集落助成制度の創設、U・Iターナーの町外への通勤助成、民泊事業の開業助成、産業支援センターでの創業者から創業後までの一貫した創業支援事業などを考えている。  
町民には、制度が十分に伝わる一覧表を考えたい。

## Q若者に交流の場を

集合住宅の中に共用スペースを設けたり、既存の公共施設などを利用して、若者の交流の場を作ったらどうか。

## A趣旨には同感

町長 山崎 英樹

衣掛団地には、若者用の住宅も考えているので、その中で検討したい。公共施設は大いに利用して欲しい。



利用可能な公共施設の一つ

## Q志々地区の買い物支援は

3月末で志々地区のスーパーが閉店すると聞けが、移動販売車の利用等を含め、支援が必要ではないか。

## A地区での取組みを支援

町長 山崎 英樹

志々地区の組織「わっしょい志々会」で検討されている。地域の実情やニーズが変化していく中で、状況に適切する対策を地域の皆さんと考え、取り組んでいきたい。



閉店したスーパー

# 一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

## Q給食の無償化を

子どもの貧困が非常に大きな社会問題になり、貧困が世代を超えて連鎖しないようにすることが課題になっている。政府のいう貧困は、年間所得122万円以下の人である。本町における貧困率は明らかにされていないが、就学援助を受ける児童生徒の割合は、昨年度は小学生で13・8パーセント、中学生で10・9パーセントという報告である。  
学校給食は食育であり、教育の重要な要素でもある。定住促進事業として子育て支援を充実し、人口流出を防ぎ転入者を増やす狙いや、食育の観点から無償化に踏み切っている自治体が多い。  
学校給食費の無償化は、保護者の経済的負担軽減と同時に、子育てと未来ある子どもたちを支援し、子どもの学ぶ権利を保障するためにも重要である。  
小中学校の給食費の無償化を提案する。

## A今後の課題

町長 山崎 英樹

適正で応分な負担をいただくことが、町の未来を担う世代、今の若者に対しての責務でもある。

必要な方には手を差し伸べていると考えており、財政状況などから今後の課題とする。

## A検討課題

教育長 安部 亘

児童生徒が健全に育つよう、教育予算の中で手厚く盛り込んでいく。  
必要な予算措置しながら、自分の負担も願う。貴重な提案と思うので、今後の検討課題としたい。

## Q医療費無料化の拡大を

文部科学省の調査では、公立高校に通う子どもの経費に38万円あまりかかっている。突発的な病気や怪我の際、家計を気にしないで病院に通わせたいという願いは切実ではないか。医療費無料化は、経済的な負担を減らすとともに、子どもの成長を保障することにもなる。

飯南高校存続は厳しい局面にあるが、高校卒業までの医療費無料化は、U・Iターナーする人たちにとつても魅力的な政策になり、定住対策としても一役かうと思う。いろいろな効果が期待できる医療費無料化の拡大を推進すべきではないか。

多くの自治体を取り組んでから始めてもインパクトはない。先駆けた導入が効果も大きいと思うがどうか。

## A将来への課題

町長 山崎 英樹

提案の趣旨、思いはよく分かるが、高校生への支援がどこら辺りの状況にあるかという視点も必要である。将来的な課題としたい。



高校生の登校風景

# 一般質問

3月定例会



門 眞一郎 議員

## Q 定住者と集落 どうつながる

本町では、以前から定住対策に取り組み、独自の仕組み作りを行っているが、人口減少を止めることが困難な状況だ。また、U・Iターンの定着率が低いことも悩みだ。定住には、集落とU・Iターンの者をつないでいくかが重要だが、定住対策の考え方はどうか。住民が、ここはとても素晴らしい所だと愛着を持って暮らすことが大切だ。愛着や誇りを醸成する施策を推進すべきだ。



CATV 飯南局

(1) 飯南高校報道部とCATV飯南局が協力し、PRビデオを作成し、全国へ配信すれば、行ってみたいという人が現れる。  
(2) 定住者支援策が一目でわかるパンフレットを作成する。  
(3) U・Iターンの者が互いに協力し合える仲間作りで、定着の助けにする。  
以上、3件を提案する。

町長山崎英樹

## A 対策の拡充で 対応する

定住対策は基本姿勢として、一つひとつの相談に丁寧に対応する体制づくりが大切だ。定住相談員の活動状況は、昼夜を問わず、U・Iターンの相談に乗っているが、集落とつなぐ役割として定住協力員5名を配置し、情報収集に努める。

新年度から、集落がUターンの促すことで奨励金を交付したい。また、定住促進賃貸住



様々なPR媒体

## Q ふるさと納税を さらに拡大せよ

ふるさと納税拡大には、都市住民に支持されるまちづくりやPRが必要になってくる。また、お礼の品に対する魅力が拡大への一因となっている側面もある。

お礼の品には、安定した価格で特産品が消費されるという意味があるが、どう対策するか。

## A PRで波及効果を 狙う

町長山崎英樹

様々な媒体を通じてPRに努めているが、本年度は1億円を達成し、前年度の1.4倍となった。

お礼の品対策は、この制度を好機として捉え、本町の特産品で飯南町をPRし、地域経済への波及効果や活性化に結びつけることが大切と考えている。

新商品発掘やリピーター獲得対策を強化して行く。

# 一般質問

3月定例会



熊谷 兼樹 議員

## Q 良質な敷料用 オガコ生産を

敷料用オガコの利用率が低い。畜産農家が求めるものを生産し、利用を促進するには原材料を保管する施設を建設し、含水率を下げる必要があるのではないか。

## A 敷地の拡張から

町長山崎英樹

敷料用オガコの含水率が高い点は、森林組合と問題意識を共有し協議している。敷地の拡張から具体的な検討を進めたい。



飯南町バイオマスセンター

## Q 未利用材買取 制度の改善を

未利用材買取制度について、里山商品券を利用するため発券が迅速にできない。搬入時期によっては、その利用期間が短くなる。搬入木の雑木比率が高く、それによる支障が出るなどの問題があるのではないか。

## A 関係者で協議

産業振興課総括監藤原 裕

発行している里山商品券は、法律により有効期限を6カ月以内とされている。そのため支障が出ているので、関係者と協議したい。また、樹種による搬入制限は無く、支障があるとは思っていないが、指摘の点は調査したい。

## Q 未利用材搬出に 支援を

循環型農林業の安定的な推進には、町民の参画が必要だ。そのため、木材が比較的容易に伐採搬出できる里山整備活動を支援してはどうか。町独自だけでなく、林野庁が実施する交付金の活用を提案したいが、考えを問う。

## A 事業主体と 協議し推進

町長山崎英樹

林業振興による森林整備・里山環境保全は重要で、それは鳥獣被害防止にも繋がる。支援は必要になると思うが、個人への支援制度は考えていない。

森林・山村多面的機能発揮対策交付金については、本町の里山整備に活用できるように努力したい。

## Q 介護職・障がい者 支援員の処遇改善を

介護職・障がい者支援員は、就労環境の厳しさや処遇の低さから倦厭される職業になっている。

現在、周辺自治体では介護職員確保対策を行っている。本町でも人材の確保を図るべきではないか。

## A 人員不足は切実

町長山崎英樹

本町では種々の助成金、支度金制度を設けているが、介護職員・障がい者支援員の人員不足は切実だ。賃金は、国を挙げての問題であり、国・県で検討頂きたいが、本町としてできることは関係機関と協議して努力したい。



# 一般質問

12月定例会



長島 正一 議員

## Q ホンモノの地方創生への決意は

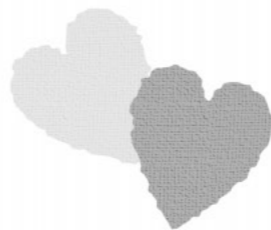
国が推進する地方創生に向け、子育てや定住対策に取り組んでいるが、ここ数年人口減少が顕著となっている。いかに人口減少を食い止めるのが課題だ。地方創生に向けた決意を問う。

### A 飯南町若者・女性応援基金の創設を

町長 山崎 英樹

子育て、出会いの創出、若者、女性活躍社会の実現、若者の創業支援の推進のため、「飯南町若者・女性応援基金」の創設を行う。

総合戦略推進のため、成果指標を基に政策効果を検証し、必要な改善を行い、真の地方創生を推進する。



## Q 介護職員の確保は

住民の最大の関心事は、老後を安心して過ごせるかである。介護職員確保は、これまでも対策されているが、深刻な問題になっている。どう取り組むのか。

### A 介護人材確保事業の継続を

町長 山崎 英樹

病院や診療所の維持を図ると共に、医療・福祉・介護人材を確保するため、助成金や支度金制度を継続する。

また、介護人材を町職員として雇用し、民間の福祉施設などに派遣することも検討する。

## Q 地産地消推進条例の制定を

地方創生に向け、6次産業化への展開が注目されている。農工商が連携し、所得や雇用の増大、地域活力の向上を図り、異業種間ネットワークを構築することにより、新商品開発や販路拡大を目指すものだ。

また、飯南町地産地消推進条例を制定し、町民一人ひとりが「食」と「農」の重要性を再認識し、安全で安心な農畜産物の供給、都市と農村の交流や食育などの推進をすべきではないか。

地産地消の要である学校給食の地元産自給率は21.2%であり、あまりにも低く問題であるが、考えを問う。



ぶなの里に集まる地元野菜

### A 条例制定は研究・検討する

町長 山崎 英樹

本町の6次産業の経済効果は大きく、公共的団体で1億6千万円余、雇用者は85人となっている。

生産者、消費者、事業者、教育関係者や行政が一体となって地産地消を推進する。条例の制定は研究検討したい。

### A 生産・出荷・消費の連けいで考えたい

教育長 安部 亘

地産地消の推進は、食育教育で子どもの心と健康を育て、正しい味覚をしっかりと身につけることが重要だ。数値目標を示し、連携の仕組みづくりを行う。

DEBATE

# 討論

## 飯南町国民健康保険条例の改正

現行の国民健康保険賦課限度額は基礎賦課分52万円、後期高齢者支援金等分17万円。これを、基礎賦課分を54万円、後期高齢者支援金等分を19万円に引き上げる。

### 反対討論 伊藤 好晴 議員

国庫負担率を大幅に引き上げて国民の負担を軽減するのが筋。国保の財政難と国保料高騰を招いた原因は、国庫負担の引き下げによるものだ。

同じ理由で、平成28年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算にも反対だ。

### 賛成討論 熊谷 兼樹 議員

確かに国庫支出金は、国保被保険者数の減少等により減額されているが、他の交付金支出金で

カバーされており、収入総額では増額している。

平成28年度は保険料率を据え置き、安定した財政運営ができていく。さらに、地道な保健啓発活動により一人当たりの医療費は減少傾向にあり、その成果が現れている。

### 平成27年度飯南町一般会計補正予算(第7号)

琴引スキー場外経常管理費 1080万円

### 反対討論 伊藤 好晴 議員

原価を大きく割り込んだ営業は邪道だ。周りのスキー場が採算がとれないとして営業を見送る中で、営業するという姿勢はいかなものか。

### 賛成討論 長島 正一 議員

今年度は外国人客等もあり、新たな時代に入ったという印象を受けた。国道54号から近いスキー

場ということ、家族連れ客が多いというのが近年の実態だ。新たな時代の観光の目玉になっている。

### 平成28年度飯南町一般会計予算

ふるさとの森施設経常管理費 2200万円  
創業支援事業 1900万円

### 反対討論 伊藤 好晴 議員

施設の営業について、住民の理解が得られていない。ビジネスコンテストの賞金などだが、この事業で創業する人が出てくるのか疑問だ。

### 賛成討論 長島 正一 議員

〈創業支援事業〉若者、女性等々が創業する上でこの予算を有効に生かすことが大切だ。個々の仕組みについてはまだまだ検討する余地があるが、地域創生の目玉予算だ。

## [3月定例会]

全49議案のうち、反対等があった議案の採決結果は次のとおりです。

| 件名                      | 結果 | 難波俊司 | 伊藤好晴 | 永井章 | 長島正一 | 門真一郎 | 熊谷兼樹 | 内藤眞一 | 早樋徹雄 | 高橋英次 |
|-------------------------|----|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|
| 飯南町支所設置条例の一部改正          | 可決 | ○    | ●    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 飯南町国民健康保険条例の一部改正        | 可決 | ○    | ●    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 平成27年度飯南町一般会計補正予算(第7号)  | 可決 | ○    | ●    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 平成28年度飯南町一般会計予算         | 可決 | ○    | ●    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 平成28年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算 | 可決 | ○    | ●    | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

○賛成 ●反対

## 陳情の採決結果

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 公共事業の安定的な予算確保等を求める陳情 | 全会一致採択 |
|----------------------|--------|

## 第1回臨時会(2月9日開催)

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 教育委員会の委員の任命            | 全会一致同意 |
| 平成27年度飯南町一般会計補正予算(第6号) | 全会一致可決 |



大改修を終えた赤名小学校体育館を視察

### 教育経済 常任委員会

委員長 長島 正一

#### 平成27年度 飯南町一般会計補正予算

##### 観光費 1,080万円

琴引スキー場の入込客目標3万人を下回ることに  
よる指定管理料の増額を行うもの。  
今年度見込み客が、2万6千人余となったため、初  
のルール適用となった。単に行政に頼るのではなく、  
さらなる経営努力を求めた。

#### 平成28年度 飯南町一般会計予算

##### 定住促進住宅整備事業 1億1,784万円

賃貸住宅4戸を建設し、定住者を受け入れるもの。  
集落で建設予定地確保を図るための予算240万  
円が含まれており、集落や定住相談員、集落支援員  
と連携を図るよう求めた。

##### 学習支援館運営事業 1,321万円

学習支援館運営については、一般社団法人化の計  
画提案が示されたが、事業内容が把握しにくい  
ため好ましくない。地元講師による民間主導による法人  
設立が好ましいとの見解を示した。

##### 創業支援事業 1,976万円

この事業は、商業活性化重点支援補助金や若者女  
性応援基金繰入により、ビジネスコンテスト、新商  
品開発支援、新産業創出支援や小売店等持続化支援  
等が計画されている。

地方創生に向けた重要な事業であるが、事業実施  
時には成果報告や検証の重要性を指摘した。

##### 農作物鳥獣防止事業 1,787万円

鳥獣被害対策実施隊報酬、有害鳥獣捕獲奨励金や  
鳥獣被害防止総合対策事業により農産物被害を防  
止するための費用。事業の推進は緊急を要し、さら  
なる予算確保と集落ぐるみの対策が必要と指摘した。  
また、ジビエ(野生の鳥獣肉)への取り組みを検討す  
るよう求めた。

(参考)集落からの柵、電気柵、捕獲檻の要望額は8,683万円

##### 赤名小学校大規模改修事業 1億9,770万円

今年度、再度の予算計上であり、確実に予算確保  
に努めるよう求めた。

昨年より4,700万円の増額予算となっており、事  
前打合せの徹底と共に事業実施時には、障がい児(者)  
等に配慮するよう指摘した。

- ③ラムネ温泉についての報告
  - ④頼原公民館についての報告
  - ⑤フロンティアあかぎについての報告
- 3月11日**
- ①病院、診療所の担当医師及び診療日の変更についての説明
  - ②投票所の統合についての説明
  - ③平成26年度飯南町本庁舎建築工事請負変更仮契約についての説明
  - ④財産(新庁舎新規購入備品)の取得の変更についての説明
  - ⑤飯南町行政改革大綱の説明
  - ⑥ラムネ温泉の運営についての説明
  - ⑦地方創生加速化交付金の補正予算計上についての説明

- 3月23日**
- ①飯南町の教育施策大綱の報告
  - ②飯南町地域公共交通計画の報告
  - ③出産祝い金についての説明
  - ④生き物文化誌学会 しまね雲南例会の開催報告

## 議会全員協議会の議題

- 1月28日**
- ①大雪に関する対応報告
  - ②歳入対策についての報告
  - ③平成28年度予算要求状況の報告
  - ④健康増進計画「健康ないいなん21」の概要報告
  - ⑤平成28年産米の生産数量目標算定方法の報告
  - ⑥株式会社エリーゼの役員変更等の報告
- 2月9日**
- ①中期財政計画についての説明
  - ②飯南町過疎地域自立促進計画の説明
  - ③飯南町公共交通計画(案)の概要説明
  - ④琴引フォレストパークの運営状況の説明
  - ⑤時効到来私債権の整理の説明
- 2月26日**
- ①飯南町若者・女性応援基金の設置の説明
  - ②飯南町過疎地域自立促進計画の説明



### 総務厚生 常任委員会

委員長 早樋 徹雄

#### 平成28年度 飯南町一般会計予算

##### 防災行政無線整備費 3億9,275万円

町内28か所の防災行政無線工事を行うもので、来  
年3月の完成予定。

##### 地域交通対策費 8,808万円

頼原地区、来島地区のデマンドバス実証運行に2  
台の車両購入が予定されている。町民に対しデマン  
ド方式の十分な周知、説明を求めた。  
また、備北交通バスの乗車運賃は町内区間のみの  
利用であれば、一律200円となる見込み。

##### 保育所運営費 2億634万円

保育所の運営は社会福祉協議会へ業務委託して  
いるが、平成28年度は保育士不足などから保育所体  
制の大きな変更が予定されている。子育て支援が叫  
ばれる中で、安定した保育体制確保は重要だ。社会  
福祉協議会への業務委託時の原点にかえり、信頼さ  
れる保育行政の推進を求めた。

##### 出産祝い金 100万円

第3子以降の子どもに支給する出産祝い金は、平  
成28年4月1日から31年度末までの4年間の出生者  
が対象だ。支給額が多額の上、分割して支給するこ  
とになっている。  
不公平感が生じる恐れがあるため、意見書を付す  
ことにした。

#### 飯南町若者・女性応援基金条例 の制定

若者、女性の活動を応援するために基金条例を制  
定。本年度4千万円、次年度以降は毎年積立て、31年  
度までに1億円の基金とするもの。

##### 審査意見

出産祝い金(第3子以降)については、平成28年4  
月1日から31年度末までの4年間の出生者が対象で、  
支給額が多額の上、6年間にわたり支給することになっ  
ている。  
しかし、平成28年3月31日までに生まれた5歳未  
満の第3子以降の子どもをもつ保護者は対象外で、  
大きな不公平感が生じる。名称を「出産祝い金」と「子  
育て支援金」に分け、支給金額を引下げてでも現在  
第3子以降の子どもも対象とするよう検討すべきで  
ある。



## 議会活動報告 [1月~3月]

- 1** **6日** 議会広報編集委員会:委員会報告、紙面校正作業
- 8日** 議会広報編集委員会:紙面校正作業
- 10日** 飯南町消防団出初め式
- 18日** 雲南地域協議会議長連絡会議事研修会(雲南市)
- 27日** 教育経済常任委員会:農業委員会との意見交換
- 28日** 議会全員協議会
- 2** **9日** 議会運営委員会:臨時会の提出議案、日程外の協議  
臨時議会、議会全員協議会
- 24日** 雲南広域連合議会2月定例会
- 26日** 議会全員協議会
- 3** **7日** 3月定例議会:本会議、町長提出議案の説明
- 8日** :本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託
- 11日** :本会議、一般質問、議会全員協議会
- 14日~18日** :委員会審査
- 22日** :委員会審査、予算特別委員会審査
- 23日** 3月定例議会:本会議、討論、採決・議会全員協議会
- 25日** 雲南市飯南町事務組合議会定例会
- 28日** 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
- 30日** 議会広報編集委員会:一般質問要約作業

# 奥畑でトマト栽培ハウスを経営

戸田 瞬介さん(28歳)

## 就農へのきっかけは

25歳までは、父がいろいろのことを経験したほうが良いと、好きなことをさせてくれました。長男なので、ここへ戻ってきて農業をやろうと思っていたので、帰ってから大田市の県立農林大学校に入学し、農業を学びました。

子供のころから、父の仕事をみて来たので、「継がないかなー」と思っていました。それに、農業は儲けようと思えば儲かることを見て分かっていました。

今の農産物は価格がだいたい決まっている分大儲けがなくて、規模や収量が重要になっ

# 明日を拓く



今年ご結婚予定の戸田さん

ています。良い価格で売りたいければ、有機などの付加価値がないと無理です。僕はエコ認定を受けていますが、今はそれが普通といった感じです。

## 今後の計画は

施設は面積がなければ必要な収入が得られないので、これから棟数を増やして50a位にしたい(現在は15a)と思います。そうすれば雇用も必要になります。地域に貢献できるんじゃないかと。そういう意味では農業って夢がありますよね。

売り上げ目標は、とりあえず一千万円。5年ごとに事業を見直して、新たなことに挑戦したいと考えています。

それぞれの農家でこれややっていくのではなく、町ぐるみで考えなければ産地として確立しません。生産に専念していくためには、選果や販路の開拓など分業化を進めることが重要だと思っています。

選果場が計画されることは、ありがたいと思っています。

## 町やJAに求めることは

自分たちでは出来ないのが販路の開拓で、しっかりした流通システムを確立してもらいたいのです。

主要作物のトマト、メロン、パプリカ以外の作物で、前作後作の生産体系を確立し、それを統一的にやることで産地化ができるのではないかと思います。

生産方法も各々の考えでやっているのが現状ですが、指導体制の強化が必要だと思います。

高齢者の引退年齢を引き上げるため、地域おこし協力隊に手伝いに来てもらえば、高齢者がもう数年生産に従事できるようになるのではないのでしょうか。協力隊に空いている日があれば、地域貢献してもらえればありがたいと思います。

## 今月の表紙写真



「あっ、そこ引っ張って!!」と、小さな子が黄色い大きな声を出して、作業をリードしていました。ここ小田地区でハウスメロンの栽培を営む農家は、時折吹き込む強い風の中、家族総出でビニールシート張りです。「効率的な農業を」と百家争鳴の農業論が唱えられていますが、農業も林業も、やはり人は必要なのです。少子高齢化と人口減少が進む中、実効性の高い定住対策が求められます。

## 編集後記

1月には1日の降雪としては数十年ぶりの大雪になりました。被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

さて、3月の定例議会において平成28年度当初予算77億円余、特別会計を合わせて100億円余が可決し、新年度がスタートしました。

本町発展のため、また、町民の安心で安全な暮らしを守るため、多くの事業がもりこまれていますが、効果が表れるよう注視してまいります。

そして、待ち望んだ新庁舎での業務が、5月中旬から始まる予定です。皆様に親しまれる庁舎でなければなりません。

今年度も議会活動にしっかりと汗を流してまいります。皆様のご意見をお寄せください。

議会広報編集委員会 難波 俊司